

原プロパンからの

ちょっといいお話！！

今回は、災害対応バルク貯槽。

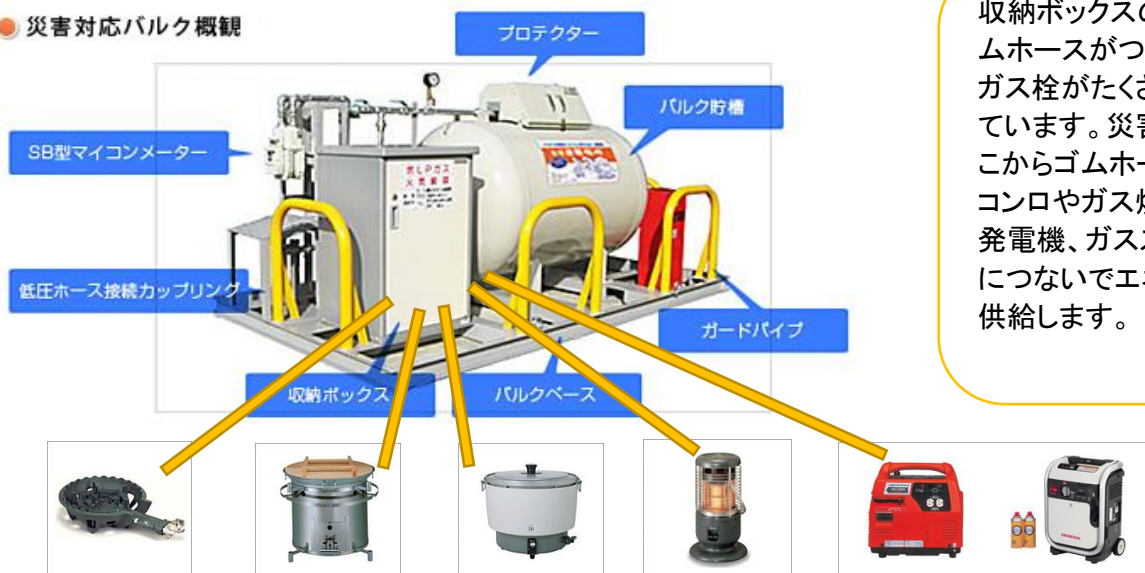
突然ですが『災害用バルク貯槽』ってご存知ですか？

地震や津波等で電気や都市ガス等のライフラインを寸断された状況においてもLPガスによるエネルギー供給を安全かつ迅速に行うことを目的として開発されたシステムなんです！大きい物で1,000kgの貯槽能力のあるものもあります。

東日本大震災以降多くの自治体や病院等で導入されています。

災害時にエネルギー最後の砦とも言われているLPガス。東日本大震災や熊本地震の時にも大活躍しました。

● 災害対応バルク概観



収納ボックスの中にはゴムホースがつながられるガス栓がたくさん配管されています。災害時にはそこからゴムホースを延ばし、コンロやガス炊飯器、ガス発電機、ガスストーブなどにつないでエネルギーを供給します。

非常時のために3日分の食料は蓄えておきましょうと多くの専門家は言っています。地震などでは3日あれば国や自治体が食事や避難所の確保等動いてくれるでしょう。しかし、逆を返せば3日間は援助をほとんど受けることができず、自力でなんとかしないとイケないということでもあります。エネルギーにLPガスを選択されているあなたはそれだけで災害対策をされていることになります！だって軒先にガスボンベが立っているでしょ！万が一電気が寸断されてもコンロを使って炊事もできますよね。

だんだん暖かくなってきましたね。このお手紙が皆様のお手元に届くころはもしかしたら桜の開花宣言がされているかもしれませんね。

3月の1週目は毎年春の防火週間です。それに合わせて毎年3月第1週の日曜日には火災模擬演習が行われます。今年は東小学校で行われました。地域住民も参加型の訓練ではしご車に乗れたり放水訓練できたりと子供達も楽しんでいました！

慎太郎



原プロパン瓦斯有限公司
〒811-2208 糟屋郡志免町吉原113-1
TEL:092-935-0371 FAX:092-935-5794
平成30年3月 第43号